

様式2(指定管理者施設)

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成23年度事業分)

1. 施設の概要

施設名	県民文化ホール	所管課	生涯学習文化課
所在地	甲府市寿町26番1号	設置年月日 (改築年月日等)	昭和57年11月23日
管理方式	指定管理者(アドブレーション・共立・NTT-F共同事業体 平成21年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例		
設置目的	芸術文化に関する県民の知識を深め、教養の向上を図り、もって県民文化の発展に寄与するため、県民文化ホールを設置する。		
主な施設内容 (定員等)	大ホール(1,989人)、小ホール(700人)、会議室(257㎡)、リハーサル室(243㎡)、練習室 5室 うち3室(42㎡) うち2室(98㎡)、レストラン(約100人)		
主な業務内容	(指定管理者が行う業務を記入する。) (1)利用の承認に関する業務。 (2)施設及び設備器具の維持保全に関する業務。 (3)文化芸術に関する催し及び講座の実施に関する業務 (4)舞台芸術の公演の実施に関する業務		

2. 類似施設・近隣施設

名称・施設内容・ 利用状況等	甲府市総合市民会館 大ホール(2,000人)、小ホール(300人)※アリーナ形式 河口湖ステラシアター 大ホール(3,000人)、小ホール(200人)※野外施設 東京エレクトロン韮崎文化ホール 大ホール(1,000人)、小ホール(300人) ※2,000人規模の屋内音楽ホールととらえると類似施設はないといえる。
-------------------	---

3. 利用状況

単位:人、%

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度 (目標値)
利用者数	貸館利用者	298,707	281,807	290,848	
	事業参加者 (内文化ホール外)	26,796	39,260	29,551	
	利用者数合計	325,503	317,079	320,399	
	目標値	340,000	340,000	350,000	350,000
	目標値設定の考え方	前指定管理者の実績をもとに自主事業参加者の増加を図る (前年比15%増)	改修工事に伴う休館があるが、事業数拡大を視野に設定。 (前年比5%増)	指定管理者申請時に、前指定管理者の実績を基に設定。 (前年比3%増)	指定管理者申請時に、前指定管理者の実績を基に設定。 (前年比同)
	対21年度比	100.0%	97.4%	98.4%	107.5%
稼働率(大・小ホール)		67.2%	71.3%	63.0%	67.5%

4. 収支状況

単位:円、%

		平成22年度	平成23年度 (計画値)	平成23年度 (実績値)	平成24年度 (計画値)
収入	施設利用料	109,534,960	111,000,000	116,248,000	111,000,000
	指定管理者委託料	160,000,000	160,000,000	160,000,000	160,000,000
	その他	77,628,889	62,600,000	76,257,040	62,600,000
	収入合計(A)	347,163,849	333,600,000	352,505,040	333,600,000
支出	人件費	100,500,000	99,000,000	100,500,000	99,000,000
	県への納付金				
	管理運営費	241,436,609	234,600,000	241,624,610	234,600,000
	(うち外部委託費)(B)	77,098,094	81,900,000	82,546,052	81,900,000
	支出合計(C)	341,936,609	333,600,000	342,124,610	333,600,000
収支差額(A-C)		5,227,240	0	10,380,430	0
外部委託比率(B÷C)		22.5%	24.6%	24.1%	24.6%
利用者一人当りの経費		505	457	499	457

5. 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成23年4月～24年3月 実施方法:貸館利用者へのアンケート(回答数:543人) 事業参加者へのアンケート(回答数:850人) 利用者目安箱の設置
-------	--

単位:%

調査項目		満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
主催者	①施設の充実度	94.3%	0.0%	1.8%	3.9%
	②音響照明装置	82.1%	15.3%	0.6%	2.0%
	③通路やロビー	81.8%	16.8%	0.2%	1.3%
	④窓口	90.6%	8.3%	0.0%	1.1%
	⑤サービス内容	94.5%	0.0%	0.2%	5.3%
	⑥施設の満足度	85.6%	13.6%	0.0%	0.7%
各項目の平均		88.2%	9.0%	0.5%	2.4%

調査項目		満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
来館者	①受付・接遇	25.0%	60.0%	1.0%	0.0%
	②清掃・整理整頓	24.0%	58.0%	0.0%	0.0%
	③警備・安全管理	21.0%	62.0%	1.0%	0.0%
	④施設設備	19.0%	61.0%	2.0%	0.0%
	⑤事業	48.0%	37.0%	1.0%	0.0%
各項目の平均		27.4%	55.6%	1.0%	0.0%

利用者の意見	①入口が狭い ②空調が暑かった、または寒かった
利用者の意見への対応	①大震災以降、来場者の緊急時避難に関しての見方が厳しくなっていることからの意見と考えられる。 ②省エネ対策、電力のピークカット、ピークシフト対策で来場者には不便をかけたしまった。心地よい施設になるよう努めるように取り組んでいく。

6. 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、業務仕様書等に基づき、計画通り、適正に業務を執行した。尚、軽微(60万円以下)な不具合箇所については即時に対応した。	管理業務仕様書、業務計画書に示されたとおりの維持管理が適切に行われた。
運営業務	「山梨県立県民文化ホール設置及び管理条例」及び「山梨県立県民文化ホール利用及び利用料金に関する事務取扱要綱」を遵守し、業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。	業務計画書に基づき適正に運営されている。
自主事業	業務計画書に基づき適正に事業を実施できた。また、国民文化祭を見据えた文化振興事業を追加で実施できた。	業務計画書に基づき適正に事業が実施されている。国民文化祭を見据え積極的に事業を展開していることは評価できる。
利用状況	東日本大震災の影響による催し物の中止、自粛等で利用者数の減少が危惧された。しかし、夏以降の自粛縮小の流れ、及び前年度まで実施してきた内容に加え、ロビーコンサートなど新しいスタイルの自主事業の展開などにより昨年度実績を若干ではあるが上回ることができた。また、グループ企業の媒体(新聞紙面、ラジオ)を駆使して、イベント情報の出稿を引き続き積極的に行ってきたことも一因であると思われる。	業務計画書に基づいた事業が実施されている。東日本大震災という特殊事情があったが、大小ホールの稼働率の低下は最小限に抑え、グループ企業の媒体を活用した広報などを積極的に行い、利用者数は計画を上回ることができた。
収支状況	大震災以降の消費の低迷からなかなか思うような収入を得ることが難しかったが、ステージコンシェルジュ事業に多くの依頼をもらい、収入を得ることができた。	昨年度よりも多い収支実績となった。支出についても事務費、人件費比率、外部委託比率が昨年度よりも抑えられ、経費削減に努めていることは評価できる。
利用者満足度	電力制限に対する対応で一部、来場者に不便をかけたしまったようだが、アンケートなどに悪い評価がほとんどなく良かった。今後ともできるだけ多くの利用者の声を聞き、より一層のサービス向上に努めていく。	提案書、業務計画書に基づき利用者アンケートや目安箱の設置が実施されている。引き続き、利用者のニーズを把握し、管理運営に反映させることが必要である。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>東日本大震災の影響による催しの中止や自粛があり、大小ホールの稼働率は目標を若干下回ったが、ロビーコンサートの実施や、積極的な広報等により、主催事業入場者数は目標を上回った。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>維持管理業務、運営業務、自主事業等については、条例、提案書、協定書、業務計画書に基づき、概ね適正に執行された。 H23年度は東日本大震災の影響で大小ホールの稼働率が目標を若干下回ったが、H24年度は積極的な事業展開、広報等により、施設稼働率の向上と利用者数の増加を図る取り組みを期待する。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>引き続き、中央のプロモーター、プロダクションに働きかけコンサートの全国ツアーを招聘しホール稼働率の向上を図る。また、県民参加劇、ジュニアオーケストラの育成など文化の普及活動を積極的に展開し、県民の文化ホールに対する県民のイメージ向上を図り、気軽に訪れることのできる施設とすることを旨とする。</p>

7. 管理体制(組織図)

(既存の組織図の画像コピーによる提出も可。)

